

# 「都構想」議論、 きつぱり終結を!



## まともに論戦できないの?

### 「死んでも死にきれない」?

3月7日の法定協議会の後、「このままでは死んでも死にきれない」「民意をもう一度聞く」と言って投げ出し「クロス」の暴挙に出た維新。ところが、いざフタを開けてみると「都構想」議論から逃げ腰、「大阪市解体って印象操作、街並みは解体できない」と言い出す始末。

### 「権力者」より「住民の代表」を!

維新は「権力者を一人にする」と思わず本音を吐露。反対意見を排除する「権力者」ではなく、みんなの意見に耳を傾ける「住民の代表」が求められています。



小さな扱い(維新の会のピラより)

## カジノよりくらし・防災を!

維新は地震や津波への危機感をよそに、カジノ・IRを2025年万博の前年に開業すると宣言し、莫大な税金を夢洲に投入し始めています。その一方でカジノの怖さを過小に宣伝しています。

### 「週3回、28日で10日」も通えるカジノ

ギャンブル依存症のマイナス面は否定できず、「顔認証」やマイナンバーカードの活用を言い出していますが、儲け優先のカジノ企業は強く反発しています。カジノは24時間営業で週3回72時間も入り浸れ、カジノ企業が貸金業者なので負けが込んだら「お金貸しますよ」とささやかれ身ぐるみ剥がされる仕組みです。

### バクチ(カジノ)で稼いで社会保障?!

維新は、カジノから府・市に年間700億円の納付金や家賃が入り、「社会保障の財源」にあてると言っています。カジノからの納付金は客が負けた賭け金が原資です。人の不幸の上に社会保障とは、本末転倒です。

### 日本人から1時間2億6千万円、年間2兆2857億円の賭け金が必要!

府・市IR推進局が、日本人からの売上(カジノで客が負けたお金の総額のこと)を1600億円と予測。海外のカジノの実態から計算すると、1600億円を売上げるには2兆2857億円もの賭け金が必要です。1時間に2億6千万円にもなります。

ギャンブル依存症患者をどれほど生み出すのか恐ろしくなります。やっぱりカジノは必要ありません。

## 夢洲は市民に立派に役立っています!

維新の会がめざす夢洲でのカジノ・万博は、バブル時代の「ハコモノ行政」の失敗を繰り返すだけです。

(大阪市港湾局HPより)



**Point 1** ソーラーパネルで発電  
標準的な家庭の電力消費量の約3,200世帯分を発電しています。

**Point 2** ゴミの最終処分場  
あと10~20年は使用可能。早期に埋めればゴミの有料化につながります。

万博会場のために他所から土を買い(136億円)30ヘクタールも埋め立てるといふバカげた計画が…。

**Point 3** 物流拠点・コンテナターミナル  
海外との物流の拠点。カジノ・万博の工事で物流拠点の機能がマヒすることが心配です。



台風21号で倒壊したコンテナ(夢洲)

**Point 4** 船の航路確保のための海底の土砂や建設残土を埋める所